

台湾 中原大学 短期留学レポート

東北工業大学 4年 鈴木佑琴彩

台湾に来てから2週間が経とうとしています。こちらの生活にも段々と慣れてきて毎日楽しく生活しています。台湾に来てから1週目は台湾の様々な場所に行かせていただきました。2週目では中原大学内で過ごすことが多く、大学の環境の良さに驚いています。

普段の生活としては朝・昼・晩と外食するので、台湾の外食文化を肌で体感しています。外食をする以外の時間では大学内の自習スペースで卒業設計の作業をしています。また、台湾の景色を絵に描いたりしています。



(写真1) 中原大学の自習スペースの様子「楽学園」



(写真2) 台湾 大溪の風景画

10月18日には台湾に来てから初めて、曾先生と中原大学の学生さんと卒業設計のエスキスを行いました。こちらの大学のエスキスではパワーポイントを用いたプレゼン方式で行いました。中原大学の学生の方々のプレゼンのクオリティーは非常に高くとても勉強になりました。パワーポイントの発表の際に伝えたいことの表現方法がとても綺麗でまた明確で聞いてとても楽しかったです。また彼らのプレゼンでは対象とする敷地やその周辺環境の様子をとても丁寧に調べた上で考察しており、設計をする上でとても参考になりました。

相手に伝えるということにおいてとても重要視しているため、彼らが何に関心を持っているのかがよくわかりました。

エスキスの際には曾先生が日本語と中国語で通訳してくださったので私たちは中原大学の方々の設計の内容がよくわかりましたし、私たちの設計の内容も中原大学の学生の方々に理解してもらえました。

またエスキスの際にピザやプリンやチキンをご馳走になりました。日本ではあまりないことだったので驚きましたがとてもおいしかったです。曾先生や中原大学の学生の方々の優しさにとっても嬉しく思いました。



(写真3,4) 曾先生によるエスキスの様子

中原大学のあるこの地域は都会ではないらしいですが周辺には夜市や飲食店舗が立ち並び、人々が賑やかに生活しています。そのような中で台湾の人々の優しさにふれられた機会が何度もありました。日本から来たと伝えたら、食べ物をサービスしてくれたり、お店を出る際にバイバイと言ってくれたりとても素敵な人々に囲まれています。日本のチェーン店も周辺にあり、お米が食べたくなった時にはすき家にお世話になりました。

生活している寮は留学生用の寮で、様々な国の方と同じフロアで生活しており多彩な文化に触れられることも楽しいことの一つです。

また曾先生とエスキスをする何日も前から千葉・高橋・佐々木と自分たちでエスキスを行い、それぞれの設計に対して意見し合いました。1人につき一時間ほど行い、良かった点と足りていない点などを言い合い、進めていきました。自分では予想できていなかった点からの意見をもらうことができ設計の質を上げることにとても役立ちました。4人でうまく向上していけていると感じました。

今後もこの調子で頑張っていきたいと思います。